

第十六回 R B C 国際ビジネス会議の開催に当たり、一言御挨拶申し上げます。

さて、本会議は、これまでに世界各国で十五回にわたって開催され、ロシアと各国との経済関係の強化に貢献してきました。

日露両国の間でも、ロシア経済の飛躍的な発展を背景に、貿易や投資が急速に活発化しつつあります。そうした中、ここ東京で本会議が開催されることは、両国の経済関係の強化に一段と弾みをつけるものであり、誠に時宜を得たものと思います。

さて、今回の会議のテーマは「経済多角化の基礎としてのイノベーション」と伺っております。

成長著しいロシア経済が、今後もその勢いを持続させていくためには、裾野の広い産業を育て、経済の足腰を強化することが重要です。企業が様々な分野でその活力を発揮し、イノベーションを生み出していけるような環境を整備することは、そのための重要なカギとなります。

現在、両国の間では、サハリン・プロジェクトや太平洋パイプライン・プロジェクト等、エネルギー分野を中心として、企業の活力を取り込んだ取組が進められています。

こうした活動をより幅広い分野に拡大することによって、両国が持つ優れた技術や資源が結びつき、さらなるイノベーションが生まれることを期待しております。

そのためにも、両国間での貿易や投資のさらなる促進に向けて、物流環境の改善、通関手続きの簡素化が必要であり、ロシア側のご努力に期待をしております。

本会議は、両国の政治家や企業関係者の方々が一堂に会し、こうした課題の解決に向けて意見交換を行う貴重な機会です。本会議での議論が、今後の両国関係の一層の発展につながることを信じております。是非、皆様の積極的なご参加をお願いしたいと思います。

また、この機会に、2014年の冬季オリンピック開催地にロシアのソチが選ばれたことについて、お祝いを申し上げます。私はスキー選手として、ロシアの選手と、良きライバルとして競技をしまいましたが、その強さはよく承知しておりますので、ソチ・オリンピックでロシアの選手が大活躍されることで、大会が大成功することをお祈りします。

最後に、本会議の成功と、御列席の皆様のみずみずの御発展を祈念いたしまして、私の御挨拶とさせていただきます。